



「DO YOU KYOTO?」ロゴマーク



京都環境コミュニティ活動(KESC) 小学校での出前環境学習を実施 自然エネルギー環境学習チーム、交通環境学習チーム

フォーラムの京都環境コミュニティ活動プロジェクト(以下 KESC とする)では、京都の小学校区を基本としたそれぞれの地域で、地域の事業者、学校、住民などの各主体が協力して、環境問題に取り組む仕組みづくりを目指しています。

KESC の交通環境学習チームと自然エネルギー環境学習チームが、今年度 2 度目の小学校での出前環境学習を行いました。交通環境学習チームは、前回よりも更に、説明の仕方や児童たちとのやり取りが上達しました。自然エネルギー環境学習チームは、プログラムに新たに省エネルギーについての内容を盛り込み、初めての 90 分授業に挑戦しました。

■交通環境学習チーム

- テーマ 「地域で働く人達と『くるま』について考えよう」
事業者から、環境にやさしい車の使い方や選び方、歩いて楽しいまちづくりの取組などについて紹介し、児童たちに交通と地球温暖化について学んでもらいました。
- 日時 2009年2月25日(水)10:40~12:10(90分授業)
- 実施小学校 京都市立朱雀第四小学校(中京区)
- 対象 6年生49名
- 授業実施者 KESC 交通環境学習チーム
チームリーダー 山沢邦良(株式会社エコロ21)
小野淳一(株式会社ホンダカーズ京都)
松尾知恵(京都市社会福祉協議会)
坂下尚子(京都市環境局環境企画部環境管理課)
長屋博久(有限会社村田堂)
- コーディネーター 内田香奈(特定非営利活動法人環境市民)

授業では、「どんなときに車を使う?」「車は便利だけど、どんな困ったことがあるかな?」といった問いかけに、大勢の児童が手をあげてくれました。各事業者からは、お年寄りなどの車を必要としている人もいること、自動車メーカーはCO2の出にくい車を造ることなどを説明しました。

最後は、事業者からのメッセージ「地域からはじめよう!人にも地球にもやさしい車の使い方を!」を書いた大弾幕を掲げ、児童の皆さんに唱和してもらいました。

後日、児童の皆さんから「家族がよく車に乗るので、エコドライブをするように話してみる」、「なるべく公共交通を使うようにしたい」といった感想をもらいました。



■自然エネルギー環境学習チーム

- テーマ 「地域で働く人達と『でんき』について考えよう」
風力発電を児童に体験してもらい、電気を起こすことが大変だということを実感してもらいました。電気と地球温暖化との関係、CO2を出さない自然エネルギーのこと、省エネの大切さなどを児童たちに学んでもらいました。
- 日時 2009年3月4日(水)13:45~15:20(90分授業)
- 実施小学校 京都市立北醍醐小学校(伏見区)
- 対象 6年生31名
- 授業実施者 KESC 自然エネルギー環境学習チーム
チームリーダー 渡辺千裕(生田産機工業株式会社)
山沢邦良(株式会社エコロ21)
芝原直子(有限会社森田電設)
坪内善男(京都市立洛陽工業高等学校)
- コーディネーター 内田香奈(特定非営利活動法人環境市民)

授業では、「ふつうの蛍光灯と、省エネ型の蛍光灯では、必要な電気の量がどれくらい違うのかな? 買うときから、省エネの活動は始まっています」といった問いかけや、班対抗のうちわによる風力発電のカーレースで大いに盛り上がりました。

最後は、事業者からのメッセージ「自然エネルギーと省エネで、私たちの地域から地球温暖化を止めよう」を書いた大弾幕を掲げ、児童の皆さんに唱和してもらいました。

後日、小学校の先生から、「家に帰って話をした児童が多かったようで、保護者からも『良い経験をさせてもらった』と好評だった」ということを伺いました。保護者や地域を巻き込んで環境活動を行っていくKESCの目標に、一歩近付きました。





みやこ

「京グリーン電力制度 1周年記念報告会」を開催しました。 2月25日(水) 13:00～16:00 京エコロジーセンターにて

京のアジェンダ 21 フォーラムでは、「京グリーン電力制度」を2007年10月に創設し、これまでに20以上の事業者・イベント主催者へ「京グリーン電力証書」を販売しました。この度、同制度の創設1周年を記念して「京グリーン電力制度 1周年記念報告会」を開催しました。グリーン電力を生み出している「おひさま発電所」の見学も含んだ報告会には、35名の参加がありました。

■社会福祉法人向島保育園おひさま発電所見学

最初に、同制度に協力し、環境付加価値を提供している「おひさま発電所」とはどのような施設かを参加者に知ってもらうために、向島保育園のおひさま発電所を見学させていただきました。



【写真】挨拶される奥山園長先生

奥山園長先生、主任の福田先生から、太陽光発電設備の導入までの経緯や、これからの環境問題への取組の意気込みなどについてお話いただいた後、発電量表示盤や、太陽光発電の発電量を計測しているパソコンの見学をしました。



【写真】発電量表示盤を見学

■京グリーン電力制度 1周年記念報告

【報告者名】

北尾育子氏 (社会福祉法人京都社会福祉協会大宮保育園園長)
中島良彰氏 (京都市産業観光局観光部観光振興課課長補佐、
京都・花灯路推進協議会事務局長)
土本佳宏氏 (株式会社ウエダ本社)
大西啓子氏 (認定NPO法人きょうとグリーンファンド事務局長)
西本雅則 (京のアジェンダ 21 フォーラム事務局長)

見学終了後、制度の運用者(京のアジェンダ 21 フォーラム)、環境付加価値の供給者(太陽光発電設備設置者)、証書購入者(事業者、イベント主催者)等、制度に関わる人たちが一堂に会し、それぞれの取り組み発表と、参加者との意見交換を行いました。



【写真】報告会の様子

環境付加価値の供給者である大宮保育園の北尾育子さん(大宮保育園長)からは、「京グリーン電力制度に協力することで、京都で次のおひさま発電所をつくることに貢献でき嬉しく思う。また、同制度への協力が新聞に掲載さ

れたことがきっかけで、入園を希望する家庭も増えました」との報告がありました。

2008年度、京グリーン電力を購入された京都・花灯路推進協議会の中島良彰さんは、「京グリーン電力制度第1号となった花灯路は、今年度はライトアップにかかる全電力を京グリーン電力でまかなった。今後は更に、LED電球の使用についても検討していきたい」と報告しまし



【写真】3月の京都市内の掲示板には、京グリーン電力を使用した3つのイベントが同時に掲示され、市内各所でロゴマークの入ったポスターの掲示やチラシが配布されました。

た。また、京グリーン電力証書付きコピー機の販売を開始した、株式会社ウエダ本社の土本佳宏さんからは、「最近カーボンオフセットとして、海外での植林や自然エネルギー発電に寄与する商品が販売されるようになっているが、やはり目の見える範囲での環境の取組が望ましいと考え、商品を開発した」と京グリーン電力制度の特徴である「エネルギーの地産地消」の取組についての評価をいただきました。

その後の会場との意見交換では、証書の売上金の使い道についてなどの質問が出され、活気のある報告会となりました。

フォーラムでは、京都市域での自然エネルギー利用を促進するため、2009年度も更に、京グリーン電力制度の充実に努めていきます。



【写真】報告者の皆さん

■太陽光発電設備設置事業者 募集中

* 現在、環境付加価値を提供していただける京都市内の太陽光発電設備設置事業者を募集しています。制度にご協力いただける事業者の皆様は、フォーラム事務所(1ページ 右肩面参照)までご連絡ください。
* 京グリーン電力制度について、詳しくは Web ページ <http://ma21f.jp/02wg/alt-energy/mgp/> をご覧ください。

京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト

水源の森づくりチーム 2009年3月20日 第4回森林保全活動を実施

京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクトのチームの一つ、「水源の森づくりチーム」では、チーム員 (事業者) の森林保全活動の技術の向上を目指し、京都市産業観光局農林振興室林業振興課の協力で、京都市の市有林「合併記念の森」(右京区京北) で 2009 年 8 月から環境保全型の森づくり活動を開始しました。3 月 20 日に 4 回目の森林保全活動を行いました。



【写真】参加者の皆さん

【参加者】18 名 (林業振興課から 2 名同席、スタッフ 2 名、事業者担当者・社員 13 名)

事業者名: 日本電気化学 (株)、月桂冠 (株)、(株) エスケエレクトロニクス、三幸総研 (株)、(株) 京都テクニカ

【講師】北山就乙氏 (京北森林組合)

● 安全第一で作業を実施

間伐などの森林保全活動には危険が伴います。チームでは、日々の職場における安全基準や管理のノウハウを活かし、安全標準「森林作業に係る安全確認について」を作成し、毎回、安全第一で作業を行いました。

● 進む間伐作業

これまでの 4 回の間伐作業の実施により、以前は暗かった放置人工林の中に徐々に光が入るようになりました。これによって、森林内の植生が変化し、多様な植物が成長することが期待されます。

● 今後の予定

チームでは今後、植生の変化などの調査を行いながら、「水源の森づくり」を具現化するため、継続して間伐や植林を実施する予定です。また、作業に伴い出される大量の間伐材の活用、子どもたちへの森の大切さについての環境学習の実施を検討していく予定です。

● 参加事業者を募集中!!

森づくりチームの活動へは、KES 環境改善目標の一環としての参加が可能です。詳しくはフォーラム事務所 (1 ページ右肩面参照) までお問い合わせ下さい。

自然生態系に配慮した森とは

- ・人が利用しない部分は、さまざまな樹種からなる自然 (手つかず) に近い森に戻す。
- ・人が利用する人工林は、手入れし、材を活用、林業振興。
- ・森の保水力が高まる。豊かな湧水が復活。
- ・台風や大雨でも崩れない森。
- ・人と動物が棲む部分とのすみわけ。
- ・山でエサが取れるようになり、動物たちが山に帰り、動物による農林業被害が軽減。
- ・花粉症人口が減る。

* 詳しくはフォーラム Web ページをご覧ください。
<http://ma21f.jp/02wg/biz-industry/08/080930kesc02.html>

事務局動静

事務局スタッフの動きを報告します。(2月16日～3月15日)

2月 16日 (月) 家庭の省エネ相談所
(中京区・東山区・コープ二条駅)

17日 (火) 家庭の省エネ相談所
(下京区・南区・右京区)

19日 (木) KESC 森チーム打合せ
歩いて楽しいまちなか戦略・三条細街路 WG

20日 (金) 南太秦小学校 KESC 出前環境学習

21日 (土) 環境保全戦略会議講師

23日 (月) 自然エネルギー WG 京グリーン電力コア
会議

25日 (水) 朱雀第四小学校 KESC 出前環境学習
FM845 ラジオ出演
京グリーン電力制度 1 周年記念報告会

26日 (木) エコツアーリズム WG 運営会議

27日 (金) カーボンオフセットモデル事業公開
シンポジウム

伏見新エネルギー研究会

28日 (土) 「歩くまち・京都」総合交通戦略シ
ンポジウム
交通 WG 運営会議

3月 2日 (月) KESC 風チーム打合せ
こどもエコライフチャレンジ会議

4日 (水) 北醍醐小学校 KESC 出前環境学習

7日 (土) KESC 森チーム水源の森づくりフォーラム

9日 (月) 自然エネルギー WG 運営会議
えこまつり WG 運営会議

13日 (金) KESC 打合せ

「家庭の省エネ相談所」を開設しました ～今年度の開設の数値目標を達成～

フォーラムでは今年度、「家庭の省エネ相談所」を京都市内で 25 回開設し、1000 名の市民に受けていただくことを目標としてきました。「家庭の省エネ相談所」とは、市民の皆さんに、日々の暮らしに関するアンケートに記入してもらい、コンピューターで診断して「エコライフ診断書」を発行し、それをもとに、省エネの知識のある「家庭の省エネアドバイザー」が、各家庭に合った省エネのアドバイスを行うというものです。

今年度は区役所・支所、商業施設、イベント会場において合計 28 回開設しました。また、合計 1,035 名の市民の皆さんに省エネ相談を受けていただき、目標を達成することができました。なお、開設にあたっては、「省エネ普及ネット・京都」にご協力いただきました。

フォーラムが「家庭の省エネ相談所」を脱温暖化行動キャンペーンの一環として始めた 2006 年度には、事前の広報で知って相談に来る方はいませんでしたが、3 年目に入る今年度には、省エネ相談を受けることを目的に区役所・支所に来た方も見られるようになりました。また、電球型蛍光灯（省エネ電球）のことを知っていて、自宅でも使用されている方の割合が増えてきたようで、年々、市民の省エネ意識が高まっていることが伺えます。

地球温暖化対策の重要な分野である家庭において、温室効果ガスの排出削減に直結する省エネをさらに促すため、2009 年度も、フォーラムでは「家庭の省エネ相談所」を開設していく予定です。



3月16日 伏見区役所 26名



3月16日
洛西支所 34名



3月17日
西京区役所 30名



3月17日 深草支所 25名 (左)、醍醐支所 31名 (右)
3月20日 東山区役所 20名



3月20日 東山区役所 20名



退職のご挨拶

2006 年 5 月から事務局の仕事をしていただき、皆様のお世話になりながら、おもに交通・エコツーリズム・えこまつりの WG と『月間あじゅんだ』などの広報関係・事務関係を担当させていただきました。それ以前は交通 WG の公共交通タスクチームのメンバーでしたが、4 月からふたたび交通 WG のメンバーとして活動に参加させていただきます。皆様、至らないところも多々あったかと思いますが、在職している間、フォーラムの活動にご参加くださり、まことにありがとうございました。今後ともフォーラムをよろしく願いいたします。

(長谷川吉典)

日頃は大変お世話になっております。

今年度をもちまして、京のアジェンダ 21 フォーラムの事務局職員を退職することとなりました。アシスタント、スタッフ、コーディネーターとして 8 年間の間、様々な活動・仕事に関わり、それらを通じてたくさんの方々に出会い、大変多くの貴重な経験・勉強をさせていただきました。特に各ワーキンググループの活動に参加いただいているの方々には本当にお世話になりました。厚くお礼を申し上げます。

これからも会員として別の形でフォーラムの活動に関わっていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

(竹村光世)

事務局短信 今月は通勤の時に「バスと電車で eco グルメ」と京グリーン電力マークが小さく入った市内各所でのライトアップイベントのポスターやパンフレットを駅で見かけます。多くの方の協力を得て、事業連携の輪が広がっていることに感謝します。(西本雅則) / 年々、花粉症の方が多くなってきています。花粉症を減らすためにも、KESC 水源の森づくりチームの活動に参加して、スギの放置人工林を間伐し、人間が使わない部分は、元の自然に近い森に戻していきましょう。(小山直美) / 各地の花だよりに心うかれますが、都会の開花時期が昔より早まっているのが気がかりです (小西賢人)